

2018年度（平成30年度）常磐大学教員免許状更新講習【選択領域】授業概要

11月24日(土) 【選択領域】子どものためのより良い教育実践を目指して 1日目		
第1グループ・第2グループ共通		
時間	担当者	内容
9:00-12:15	福田洋子	幼稚園教育の現状と展望Ⅰ
12:15-13:15		昼食休憩
13:15-16:30	佐藤賢一郎	幼稚園教育の現状と展望Ⅱ

11月25日(日) 【選択領域】子どものためのより良い教育実践を目指して 2日目					
第1グループ			第2グループ		
時間	担当者	内容	時間	担当者	内容
9:00-12:15	木村由希	子育て支援保護者対応	9:00-12:15	鈴木範之	子どもの音楽遊び教材研究
				石崎友規	子どもの科学遊び教材研究
12:15-13:15		昼食休憩	12:15-13:15		昼食休憩
13:15-16:30	鈴木範之	子どもの音楽遊び教材研究	13:15-16:30	木村由希	子育て支援保護者対応
	石崎友規	子どもの科学遊び教材研究			

「子どもの音楽遊び教材研究」，「子どもの科学遊び教材研究」は，いずれか1科目の選択となります。

12月2日(日) 【選択領域】子どものためのより良い教育実践を目指して 3日目					
第1グループ			第2グループ		
時間	担当者	内容	時間	担当者	内容
9:00-12:15	船城 梓	子どもと言葉教材研究	9:00-12:15	森慎太郎	子どもの運動遊び教材研究
				酒巻洋一	子どもの造形遊び教材研究
12:15-13:15		昼食休憩	12:15-13:15		昼食休憩
13:15-16:30	森慎太郎	子どもの運動遊び教材研究	13:15-16:30	船城 梓	子どもと言葉教材研究
	酒巻洋一	子どもの造形遊び教材研究			

「子どもの運動遊び教材研究」，「子どもの造形遊び教材研究」は，いずれか1科目の選択となります。

※ 2・3日目の選択科目（黄色部分）の定員は，各科目40名です。希望者数が定員を超えた場合は抽選を行い，同時間開講のもう一方の科目での受講をお願いすることになります。ご理解とご協力をお願いいたします。

※ 試験は，それぞれの授業時間内に行います。

※ 各授業時間内に15分間の休憩を予定しています。

各授業の概要

◆ 11月24日(土)

幼稚園教育の現状と展望Ⅰ [担当：福田 洋子]

2018年4月から、幼稚園教育要領改訂を踏まえた幼稚園教育が実施されている。今回の改訂のポイントや幼児教育の現状、教員に求められる高い資質等について具体的に事例を通して理解を深めていく。

幼稚園教育の現状と展望Ⅱ [担当：佐藤 賢一郎]

幼児教育の独自性である「環境を通しての教育」と「遊びを通しての総合的な指導」について再考する。また、PDCAサイクルに基づく幼児教育の指導計画と実践について理解するとともに、幼児教育から小学校教育へのつながりについても再検討していく。

◆ 11月25日(日)

子育て支援保護者対応 [担当：木村 由希]

2018年4月から、幼稚園教育要領改訂を踏まえた幼稚園教育が実施されている。今回の改訂のポイントや幼児教育の現状、教員に求められる高い資質等について具体的に事例を通して理解を深めていく。

子どもの音楽遊び教材研究 [担当：鈴木 範之]

幼稚園教育要領等における領域「表現」のねらい・内容を、講義・演習を通して再確認する。前半はあそびうた、絵本、パネルシアターを中心に、子どもたちと一緒に楽しめる音楽教材を紹介する。後半は幼稚園の発表会の映像を鑑賞し、そこで行われているイメージ遊びを追体験してみたい。

子どもの科学遊び教材研究 [担当：石崎 友規]

幼稚園における領域「環境」や小学校生活科、理科では、子どもたちが探究心をもって身近な事物や現象に関わることが重視されている。中でも基本となるのは、「比べる」活動であると考えられる。講義と演習を通し、いくつかの科学遊びの教材をもとに、「比べる」活動の意義について考察を深めていただきたい。

いずれか
を選択

◆ 12月2日(日)

子どもと言葉教材研究 [担当：船城 梓]

言葉教材の一つとしての短詩形文学、特に「俳句」形式の活用をめぐって、その考え方と具体的な方法を、実践的に学ぶ。具体的には、講義と「写真俳句」制作演習（制作・合評・発表）を通じて、創作・味わい方・共有の各面について理解を深める。

子どもの運動遊び教材研究 [担当：森 慎太郎]

講義と実技を行う。講義では幼児期の運動の重要性と幼児期運動指針を取り上げる。実技では、子どもが行う運動を体験しながら実感してもらい、さらに鉄棒やマットの指導法、及びサポートの仕方などのポイントを説明していく。

子どもの造形遊び教材研究 [担当：酒巻 洋一]

多様なメディアの発達に伴い、表現領域の活動においても子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している。この講座では子供たちが触れる造形素材や道具を改めて見直すとともに、子どもたちの造形活動をどのように計画し、支援すべきかを考えていただく。

いずれか
を選択